

令和6年1月25日部長会議 会議録（要旨）

- ◇日 時 令和6年1月25日（木） 午前8時35分から午前10時38分まで
- ◇場 所 市役所第一庁舎5階 庁議室
- ◇出席者 市長、西澤副市長、教育長、上下水道事業管理者、総務部長、財政部長、地域・市民生活部長、保健福祉部長、保健所長、こども未来部長、環境部長、商工観光部長、新産業創造推進局長、文化スポーツ振興部長、農林部長、建設部長、都市整備部長、会計局長、教育次長（行政及び教育）、上下水道局長、消防局長、議会事務局長、危機管理防災監及び関係課職員

◇会議内容

<市長あいさつ>

- ・新年度当初予算については、今週（1/23）まで市長査定を行い、概ね予算案が固まった。大変ご苦勞をいただいたことに感謝する。新年度当初予算案は、来月の政策説明会や記者会見で、議会や市民の皆様にご説明することとなる。
- ・来週、2月1日に市議会臨時会を招集する。今回、提出する議案は、国の交付金を活用した物価高騰対策に関する補正予算等である。低所得世帯への給付金や、「2024年問題」に対応する支援事業のほか、「みらいハッ！ケン」プロジェクトなどである。予算成立後、直ちに着手できるよう準備を進めていただきたい。
- ・能登半島地震に伴う被災地への支援については、既に珠洲市や羽咋市等への職員派遣、義援金や見舞金、ふるさと納税の代理寄附受付など対応いただき、感謝申し上げます。特に、被災地への支援については、今後、二次避難の対応となってくる。令和元年東日本台風災害を経験した本市として、今後はお返しをしていただきたい。また、被災者に寄り添った対応ができるよう、しっかりと準備を進めていただきたい。今後の派遣に当たり、職員の安全面・衛生面にも配慮した装備など準備をお願いしたい。
- ・今月11日、若手職員を対象とした講話を行った。日頃、接することの少ない若手職員と良い時間を共有できた。チーム長野として市政運営に取り組んでいくことや新しい提案を出してほしいと伝えた。
- ・みどりののはがきについては業務フローにおいて部局長が確認することになっているが、相談者に寄り添った表現とすること、曖昧な表現を避けるようにしていただきたい。また、自身の部局ではできないが、他部局でできないかを確認するなど、広い視点で相談者に寄り添った回答をお願いしたい。

1 協議事項

（1）令和6年度組織・機構の見直しについて（総務部）

標記事項について、総務部長から説明した。（資料1参照）

○質疑

[藤澤教育次長] 博物館については、現在、教育委員会の中で事務局には含まれず、教育機関ということで1つの課のような形となっており、市長部局と若干違うところがある。文化財課の事務分掌や博物館がどのような位置付けとなるかについて、今後、相談をさせていただきたい。

[総務部長] 今後、調整させていただきたい。

○今後の方向性

原案を了承

(2) 令和6年度に選定する指定管理施設について（総務部）

標記事項について、総務部長から説明した。（資料2参照）

○質疑なし

○今後の方向性

原案を了承

(3) 長野市危機管理指針の改正について（総務部）

標記事項について、危機管理防災監から説明した。

○質疑

[財政部長] 能登半島地震を踏まえて何を变えたかという部分が必要になると思うが特段記載がない。では、なぜ今この指針を改正するのか。

[危機管理防災監] 新型コロナウイルス感染症の対応を振り返る中で、その他の危機にも対応することを想定した時に全体的な構成に分かりにくい部分があったので、このタイミングで改正をすることとした。

[江澤副市長] 能登半島地震はまだ緊急対応の段階であり、検証はこれからだと思うが、いずれこの災害を踏まえて指針をどうするかという点は整理が必要である。

[保健所長] 指針の改正案には新型インフルエンザのことが入っているが、都道府県と市町村が策定している新型インフルエンザ等対策の行動計画について、現在、国で見直しをしており、スケジュールははっきりしないがおそらく今年には出てくると思う。国の議論なども踏まえながら、スケジュールも検討していくと良いと思う。

[危機管理防災監] いただいた意見を踏まえて、改めて検討したい。

○今後の方向性

今回の議論を踏まえ、地域防災計画との関係性や改正時期を含めて整理・再検討する。

(4) 支所等による地区との協働・支援体制の強化について（地域・市民生活部）

標記事項について、地域・市民生活部長から説明した。（資料3参照）

○質疑

[会計局長] 今後、退職する職員も一時的には増えるが、その先のことを考えると職員が不足する心配がある。回覧物の配布を市の職員がやりますと具体的に示すことはいかがかと思う。

[地域・市民生活部長] 今回のロードマップを作るときに、中山間地域が抱えている問題というのは逼迫をされていて、公助の範囲を少し見直していかなければいけないのではないかとといった概念を、すでに提示をしている。

市の職員が全て配るということは基本的には考えていないが、どうしてもやむを得ない地域に対して1人の職員を置いて、どこまでできるかということを検証していくこと自体が今回のモデル的なものだと思っているので、説明の仕方は注意をするが、必ずしも将来の心配だけをして今はやらないというふうにはしないようにしたいと思っている。

[会計局長] 中山間地域だと1軒1軒の間の距離があるということで大変さはあるかと思うが、平場でも地区の回覧物の配布は大変だという意見もあるので、説明の仕方には留意いただきたい。

[総務部長] 広報の在り方については、本来別で議論されるべきところだと思うので、今後の配布物・回覧物の見直しを進める中で、当面はこのようにやっていくというニュアンスの方が良いのではないかと。

[地域・市民生活部長] ロードマップの中で見直し項目の一つとして広報の在り方を入れている。説明の仕方と資料の順番について修正を含め検討したい。

[環境部長] 支援体制の強化という時に、中山間地域は今回のような支援の仕方があるが、住民が多い地域は協働して実施することを増やしていくというベクトルもあると思うので、一律に職員を配置することが支援のあるべき姿ではないと考える。

[地域・市民生活部長] 平場に関しては、拡大していく考え方がないわけではないが、住民自治をめぐる状況と

すると、全体として地盤沈下をしているという状況だと思っている。

その中で、今回ロードマップではっきりと示したのは、中山間地域は特別ですということで、公助の範囲を見直していくことである。

それ以外については、今回のロードマップの中でいろいろ考えていく中で、住民自治として適正な役割分担、住民にしかできないことをやっていただくという、そこら辺を基本に議論を進めていきたいと考えている。

○今後の方向性

原案を了承

(5) 城山小学校区の放課後子ども総合プラン施設の統合について（こども未来部）

標記事項について、こども未来部長から説明した。（資料4参照）

○質疑なし

○今後の方向性

原案を了承

(6) 信州新町テニスコート用地の利活用について（文化スポーツ振興部）

標記事項について、文化スポーツ振興部長から説明した。

○質疑

[上下水道事業管理者] 貯留池を設置してどの程度効果があるのか。

[建設部長] 排水機場の能力が1.2m³/秒で、過去5年降雨量の想定に対して少し足りない状況なので、この貯留池を設置することで浸水が発生しない状況にしたいと考えている。

[上下水道事業管理者] どのような効果があるかが重要であるので、地域住民の皆様にはしっかり説明をしてほしい。

○今後の方向性

原案を了承

(7) 長野市雨水管理総合計画の策定について（建設部）

標記事項について、建設部長から説明した。（資料5参照）

○質疑

[都市整備部長] 2点伺う。まず、内水・外水ともに対象とするのか。次に、長野市全体では5年に1度レベルの降雨量に耐えうる確率で整備してきたが、それらを引き上げる計画はあるのか。

[建設部長] 今回は内水に対する計画である。降雨量については、国が現在のゲリラ豪雨等の状況を踏まえて、今の降雨量の1.1倍位を目指した整備水準を示しているのので、その辺を踏まえて検討して決めていきたい。

[農林部長] 場所によってはもう農業用水というよりも、都市化が進んで都市排水路という意味合いが強い農業用水路も結構多く、やはりこのような防災を考えるとときには、農業用水も一緒に考えていく必要があると思っているので、この計画づくりは農林部としても協力させていただきたいと思っている。

そこでお願いがあるが、この計画の内容が農業に影響することも考えられるので、有識者への意見聴取をする際は、例えば土地改良区の役員や農業委員の方にも情報提供をして意見をいただくというようなことも考えていただきたい。

[建設部長] これから行う浸水シミュレーションの結果等について、地元の皆様に説明する機会を設けたいと思っているので、そのような時に土地改良区の皆様の意見をしっかり反映していきたいと思っている。

[上下水道事業管理者] 令和元年に大水害を受けた本市として、治水対策を強化していく一歩だと思うので計画の策定を進めてほしいが、専門的な用語を避け、市民の皆様には分かりやすいよう丁寧な説明をしてほしい。

○今後の方向性

原案を了承

(8) 長野市歴史的風致維持向上計画(第2期)(案)に対する市民意見募集(パブリックコメント)の結果及び計画(案)の決定について(都市整備部)

標記事項について、都市整備部長から説明した。(資料6参照)

○質疑なし

○今後の方向性

原案を了承

(9) 「子どもたちの国際教育のための倉石忠雄基金」の廃止について(教育委員会)

標記事項について、藤澤教育次長から説明した。(資料7参照)

○質疑なし

○今後の方向性

原案を了承

(10) 豊野公民館の交流センター化について(教育委員会)

標記事項について、藤澤教育次長から説明した。(資料8参照)

○質疑なし

○今後の方向性

原案を了承

(11) 上田長野地域水道事業の広域化の取組について(上下水道局)

標記事項について、上下水道局長から説明した。(資料9参照)

○質疑なし

○今後の方向性

原案を了承

2 その他

(1) 長野市公衆浴場の設置場所の配置及び衛生等の措置の基準に関する条例の改正内容についての市民意見等の募集(パブリックコメント)の結果報告及び条例改正(案)について(保健所)

標記事項について、保健所長から説明した。(資料10参照)

○質疑なし

(2) 建設用電線の需給ひっ迫に伴う本市建設工事への影響について(建設部)

標記事項について、建設部長から説明した。(資料11参照)

○質疑なし

(3) 「令和5年度 長野市子ども議会」の開催について(教育委員会)

標記事項について、勝野教育次長から説明した。(資料12参照)

○質疑なし

以上